

参考: 関東・甲信越・北陸エリアにおける傾向

本アンケート調査を、関東・甲信越・北陸エリア在住学生(n=2171)に絞り、全国データと比較をしたところ以下のような傾向が見られました。

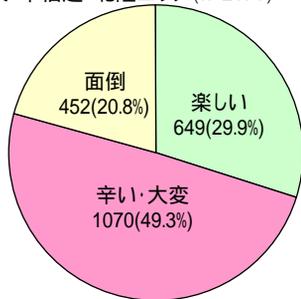
【就職活動における心理】

関東・甲信越・北陸エリア学生の49%(全国52%)が現在の就職活動を「辛い・大変」と感じている。同時に、先輩の就職活動を見て「厳しい就職環境が続くけれど、自分はなんとかなる」と思っている学生は18%にとどまり、「厳しい就職環境が続くから、自分もがんばらなければならない」と感じている学生(66%)が多数を占めている。就職活動が「楽しい」と感じている学生では「辛い・大変」とした学生よりも「なんとかなる」とする割合が11.0ポイント高い。また、関東・甲信越・北陸エリアの「がんばらなければならない」とする学生の割合は全国(67%)とほぼ同水準となっている。

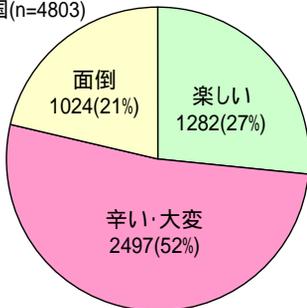
現在の就職活動に対する心境

(単一回答)

関東・甲信越・北陸エリア(n=2171)

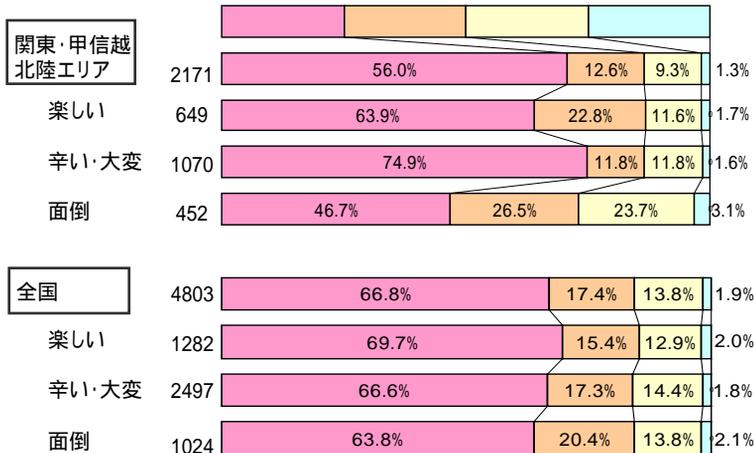
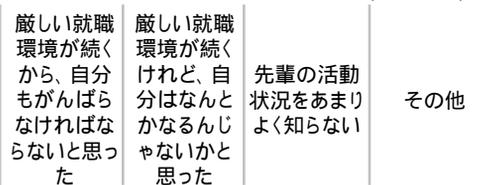


全国(n=4803)



一つ上の先輩の活動に対する印象(心境別)

(単一回答)



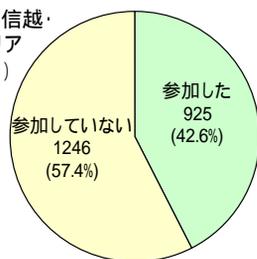
【就職活動の状況】

インターンシップへの参加は43%と全国より約2ポイント高く、さらにOB・OG訪問についても「訪問した」が29%と全国(24%)よりも、5ポイント以上高い結果が出た。訪問したOB・OGの人数に関しても、3人以上と答える学生が訪問実施者の約半数を占め、全国の割合を上回っている。

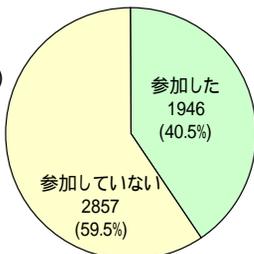
インターンシップ参加の有無

(単一回答)

関東・甲信越・北陸エリア(n=2171)



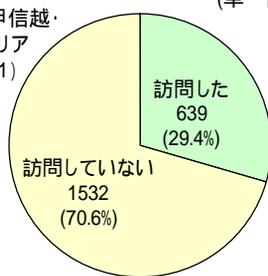
全国(n=4803)



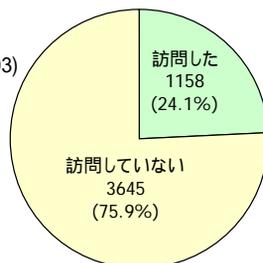
OB・OG訪問の有無

(単一回答)

関東・甲信越・北陸エリア(n=2171)

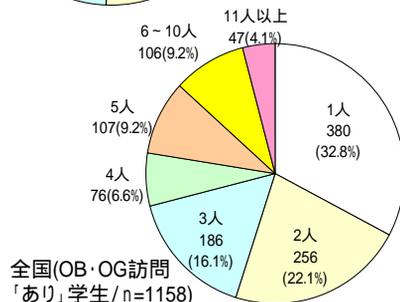
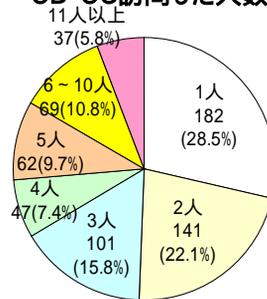


全国(n=4803)



OB・OG訪問した人数

関東・甲信越・北陸エリア(OB・OG訪問「あり」学生/n=639)



インターンシップの参加社数について問い、0社を「参加していない」、1社以上を「参加した」とした。

OB・OGの訪問人数について問い、0人を「訪問していない」、1人以上を「訪問した」とした。